

## 第2次香取市総合計画 基本構想骨子(案)

### ○総合計画骨子

---

---

#### 第1編 はじめに

##### 1章 総合計画の概要

- 1節 計画策定の趣旨
- 2節 計画の役割
- 3節 構成と期間

##### 2章 香取市の概況

- 1節 地勢
- 2節 市の沿革
- 3節 市の人口動態
- 4節 市の財政状況
- 5節 市のシンボル

##### 3章 社会的潮流の動向

- 1節 少子高齢化と人口減少
- 2節 経済・雇用環境
- 3節 高度情報化社会
- 4節 文化の多様化
- 5節 安心・安全
- 6節 地方創生・地方分権

##### 4章 まちづくりについての「市民の声」

##### 5章 後期基本計画の検証

#### 第2編 基本構想

##### 1章 香取市が目指す方向性

- 1節 将来都市像
- 2節 まちづくりの基本姿勢
- 3節 施策の大綱
  - (仮) 産業・経済の振興
  - (仮) 生活・環境の向上
  - (仮) 健康・福祉の充実
  - (仮) 教育・文化の振興
  - (仮) 都市基盤の整備
  - (仮) 市民参画・行政の取組み

#### 第3編 基本計画

※詳細な内容は未定・要検討。

## ○総合計画骨子構成の説明

新総合計画は、「はじめに」、「基本構想」、「基本計画」の3編で構成されます。

### 第1編 はじめに

新総合計画の背景を説明する部分です。計画策定の趣旨、市の各種計画との関係性、計画期間や計画の構成、市の概況など、市の現況や来歴を記述しながら新計画策定の必要性、有用性について説明します。

1章	総合計画の概要	総合計画策定の趣旨、役割、構成と期間について説明します。
2章	香取市の概況	市の概況を記載します。項目としては、地勢、市の沿革、平成29年までの人口動態、財政状況、市民憲章等の項目を検討しています。
3章	社会的潮流の動向	世界や日本を取り巻く社会環境の変化、市政運営を検討する際に把握しておくべき世の中の動向についての記載とそれらに対する自治体に求められる対応の方向性について記載します。取組との関連性を考慮しながら香取市と関連がある6分野の動向の記載を検討しています。
4章	まちづくりについての「市民の声」	計画策定に際し実施した、市民意識調査等の市民向けの調査結果の一部とその結果から分かる市の特徴、まちづくりの取組への示唆を記載します。
5章	後期基本計画の検証	平成29年度までが計画期間となっている香取市総合計画・後期基本計画の検証結果を記載します。検証のねらいや目的、検証の考え方、検証結果等の項目を検討しています。

### 第2編 基本構想

計画策定期間10年間の基本的な考え方、方向性について説明します。

1章	香取市が目指す方向性	香取市の将来都市像を示すとともに、それを実現するために必要なまちづくりの基本姿勢と施策の大綱(分野別に施策展開の方向性を示したもの)を明らかにします。将来都市像を達成するために市としてどのように取組むかをまちづくりの基本姿勢で示し、その取組分野を示すものとして施策の大綱があります。
----	------------	---

### 第3編 基本計画

基本構想を実現するための取組を体系的に整理し、その方向性を示す部分です。具体的な項目、内容については新施策の検討を進めながら調整していきます。

※基本計画の構成については、現行計画の検証、庁内の施策検討の後に項目が決定します。現段階では現行計画の構成を元に参考内容を記載しています。

構成要素の詳細な説明は以下のものになります。

## 第1編 はじめに

項目		説明	旧計画で 記載有無
1章	総合計画の概要		有
1節	計画策定の趣旨	新計画の策定に際して、計画策定の根本にある考えや主なねらいを説明します。	有
2節	計画の役割	総合計画と各種計画との関係性について整理し、総合計画の役割を定義します。	有
3節	構成と期間	総合計画を構成する要素（基本構想、基本計画、実施計画）についてそれぞれの概要を説明します。また、総合計画の対象期間について示します。	有
2章	香取市の概況		有
1節	地勢	香取市の位置、風土、面積などの地勢的環境を記載します。	有
2節	市の沿革	市の来歴、合併の経緯等を記載します。	有
3節	市の人口動態	国勢調査の集計結果等を用いて、直近40年程度の人口の推移を記載します。	有
4節	市の財政状況	市の決算状況等を用いて、歳入・歳出の決算値、市税収入の推移、職員数や人件費等の推移を記載します。	有
5節	市のシンボル	市民憲章、市の花、市の木、市の鳥等のシンボルの説明	有
3章	社会的潮流の動向		有
1節	少子高齢化と人口減少	日本で全国的に進む少子高齢化の傾向と人口減少について記載します。団塊世代の高齢化による（2025年問題）など、特に注目すべき事項について記載します。	有
2節	経済・雇用環境	グローバル化の進展、ICTの進歩や新技術の取込によって変化する経済状況や雇用環境について記載します。	有
3節	高度情報化社会	マイナンバー制度による住民情報の管理方法の変化といった情報化社会の到来が暮らし方にどのような影響を与えるかについて記載します。	有
4節	文化の多様化	日常的に接する文化の多様化、インバウンド等の訪日外国人の増加が住民の生活にどのように影響するか記載します。	有
5節	安心・安全	地震や津波、台風などの大規模自然災害に対する危機意識など、安心・安全に関して記載します。	有

6 節	地方創生・地方分権	市町村への中央政府からの権限移譲、分権型の社会の進展など、画一的な地域政策から地域色豊かな地域づくりの必要性について記載します。	有
4 章	まちづくりについての「市民の声」	計画策定に際し実施した、市民意識調査等の市民向けの調査結果の一部とその結果から分かる市の特徴、まちづくりの取り組みへの示唆を記載します。	有
5 章	後期基本計画の検証	平成 29 年度までが計画期間となっている香取市総合計画・後期基本計画の検証結果を記載します。検証のねらいや目的、検証の考え方、検証結果等の項目を検討しています。	無 (新)

## 第 2 編 基本構想

項目		説明	旧計画で 記載有無
1 章	香取市が目指す方向性		有
1 節	将来都市像	計画が実行されることによって達成される 10 年後の香取市の状態について記載します。全てのまちづくりの「目的」に該当する部分であり、「将来都市像」のフレーズ、フレーズに込められた思いで表されます。	有
2 節	まちづくりの基本姿勢	まちづくりの基本姿勢では、行政が香取市のまちづくりに関する取組む際の基本的な姿勢や考え方を示します。	無 (新)
3 節	施策の大綱	将来都市像の実現のための取組の方向性を分野別に記載します。「目的」実現のための「手段」に該当する部分である取組の分野を明らかにします。 ※以下には現行計画の 6 つの分野を記載していますが、施策の検討の進捗に合わせて変更していきます。	有
(仮)	産業・経済の振興	現行計画では、農林業、商業、工業、観光、雇用環境等に関わる取組が分類されています。	有
(仮)	生活・環境の向上	現行計画では、自然環境、資源循環、公園、防犯、防災、消費生活等に関わる取組が分類されています。	有
(仮)	健康・福祉の充実	現行計画では、福祉、子育て、高齢者福祉、障がい者福祉、医療体制、社会保障等に関わる取組が分類されています。	有
(仮)	教育・文化の振興	現行計画では、学校教育、生涯学習、スポーツ振興、歴史文化等に関わる取組が分類されています。	有
(仮)	都市基盤の整備	現行計画では、土地利用、市街地、住環境、道路、公共交通、上下水道等に関わる取組が分類されています。	有

(仮) 市民参画・行政の取組み

現行計画では、市民協働、男女平等・人権尊重、多文化交流、行政サービス、行財政運営等に関わる取組が分類されています。

有

### 第3編 基本計画

※基本計画の構成については、現行計画の検証、庁内の施策検討の後に項目が決定します。現段階では現行計画の構成を元に参考の内容を記載しています。

項目	説明	旧計画で 記載有無
1章	基本計画の概要	
	計画の趣旨	
	計画の期間	
	計画の考え方	
	成果指標について	
2章	分野別計画	
	各施策	

以上